

令和5年度 第2回上越市社会教育委員・上越市立公民館運営審議会委員会議

次 第

日 時：令和5年8月25日（金）

午後3時～

場 所：直江津学びの交流館2階

多目的ホール

1 開 会

2 委員長挨拶

3 議 事

(1) 令和6年度社会教育の方針作成について 資料No.1

(2) 上越市の社会教育事業の「学びのグランドデザイン」について 資料No.2

(3) その他

・社会教育委員による事業評価について 資料No.3

・今後の会議等の日程について 資料No.4

・令和6年度関東甲信越静公民館研究大会新潟大会について 資料No.5

4 閉 会

※議事終了後、意見交換会を実施します。

・情報共有の取組について

・新潟県社会教育研究大会胎内大会分科会事例発表について

【現状と課題】 … R4の取組から

（多様な学習機会の提供）

- 市民の価値観の多様化、少子高齢化に伴う人口減少や担い手不足が著しい。また、多様化する人権問題など、地域における現代課題に対して、各種団体等と連携・協力しながら解決を図る社会基盤の構築が求められている。
- 個人の学びの要望に応えるとともに、生涯を通して学び、活躍できる担い手となるよう、地域の魅力ある資源を活用した地域づくり等、社会の要請に基づく学習機会の提供のほか、参加者の固定化及び事業のマンネリ化に対応した取組が必要である。
- 課題解決のアイデアや気づきとなるような講座を、地域の団体と連携して実施する必要がある。

（地域ぐるみの教育の推進）

- 地域社会の連帯意識の希薄化などにより、地域における教育力が低下し、家庭教育を支える仕組みや環境も大きく変化している。
- 22の地域青少年育成会議では、各地域の特色に応じた活動を行っているが、教員の働き方改革に伴う学校との関係や事業のあり方に課題を持つ地域もあることから、各地域の状況に応じた支援が必要である。また、地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の高齢化・担い手不足が生じている。
- 地域の若者を地域づくりや社会教育の担い手として巻き込んでいく取組が必要である。
- 高等学校での不登校や社会人となる段階での不適應など、若者が自立していく中で、つまずき、ひきこもりになる状況が見られる。未来ある若者が社会的に孤立しないよう、義務教育終了後も途切れることなく、自立に向けて支援する活動を推進する必要がある。

（施設管理・整備）

- 公民館（地区館及び分館）、生涯学習センター、白山会館、上越清里星のふるさと館、上越科学館、大潟野外活動施設、図書館を所管し、多くの施設は老朽化が進行している。
- 公民館は、住民の学びやまちづくり活動を支える拠点となる施設である。また、職員が常駐する地区公民館は、子どもたちの居場所にもなっている。引き続き、住民が学びやすい環境を作っていく必要がある。
- デジタル化の進展に伴い、社会教育施設におけるICT環境の整備を図る必要がある。

【目指すべき姿】

誰一人取り残さないというSDGsの理念の下、学びを通じた人づくり、地域づくりを推進する。

【社会教育課の取組方向（重視する視点）】

【取組方向①】

多様な学習活動の推進
多様な学習機会の充実

- 多様な学習ニーズに対応するため、地域の資源や人材、NPOなど民間団体の取り組み等を活用し、主体的な学びのきっかけとなる学習機会の提供や学ぶ環境の充実を図る。
- 参加者同士が学び合い、互いに高め合えるよう支援するとともに、市民に学びの輪が広まり学習の成果が幅広くいかされるよう、学びが循環する地域づくりを推進する。
- 一人一人が大切にされる社会となるよう、人権教育を推進する。

【取組方向②】

学校・家庭・地域が一体となった子どもの健全育成

- 学校・家庭・地域が一体となって子どもの健全育成を推進し、郷土愛の醸成を図る。
- 地域青少年育成会議や地域団体の活動を支援するとともに、持続可能な青少年教育活動体制を整えるため、特に公民館と連携する仕組みづくりを進める。
- 地域学校協働活動推進員の取組を周知するなど、「地域の子どもは地域で育てる」意識の醸成を図るとともに担い手の確保に努める。
- 義務教育終了後も切れ目のない若者への教育的支援の取組を進め、若者の居場所（Fit）を中核とする若者及び保護者への支援を充実させる。

【取組方向③】

施設管理・整備

- 施設の実態や利用状況を踏まえ維持管理や計画的な整備を進め、学ぶ環境の充実を図る。
- 住民の身近な学びの場、子どもの居場所としての環境を維持するとともに、ICT環境の整備を進める。
- 「公の施設の適正配置計画」に基づき、適正配置を進める。

【令和5年度の重点事業】

多様な学習活動の推進・多様な学習機会の充実

【事業内容】

- 人権教育の推進
 - ・人権意識を高めるための学習機会の充実
 - 郷土を愛する心の育成
 - ・地域の資源や誇りを活かした謙信KIDSプロジェクトの実施
 - 地域・現代課題に対応する取組の推進
 - ・地域団体とともに地域の課題解決に向けて、「ふるさと未来づくり事業」を各地区公民館で継続する。
 - コロナ禍にあっても、市民の学びの意欲や関心が高まるよう、教育機関である公民館での多様な取組を通じて、人づくり、地域づくりを推進する。
- <第7次総合計画・第3次総合教育プラン>
3-1-1 人権・多様性の尊重 5-3-1-1 多様な学習機会の充実 5-3-1-2 多様な学習活動の推進

学校・家庭・地域が一体となった子どもの健全育成

【事業内容】

- 家庭・地域の教育力向上
 - ・家庭教育支援講座、親子活動講座等の実施
 - 青少年の育成支援活動の推進
 - ・地域青少年育成会議への訪問を通じた各地域の状況把握と課題に応じた支援
 - ・地域青少年育成会議と公民館との事業連携の推進
 - ・市ホームページ等を通じた地域青少年育成会議や地域学校協働活動推進員の活動周知
 - ・担い手確保のための研修会等の実施
 - 若者育成支援の取組の充実
 - ・若者の居場所（Fit）の周知と活用の促進
 - ・親の会の開催による保護者支援の充実
 - ・関係機関・団体と連携した支援の推進
- <第3次総合教育プラン>
5-2-1-2 特色ある学校教育の推進 5-2-2-1 全ての子どもたちの学びの保障

施設管理・整備

【事業内容】

- 施設の適正管理と適正配置の取組推進
 - ・利用者が安全に安心して利用できるよう、施設の適切な管理運営を図る。
 - ・金谷地区公民館の整備をはじめ、適正配置の取組を進める。
 - 上越科学館の展示等の適切な管理運営を図る。
- <第7次総合計画>
5-3-1 多様な学びの推進

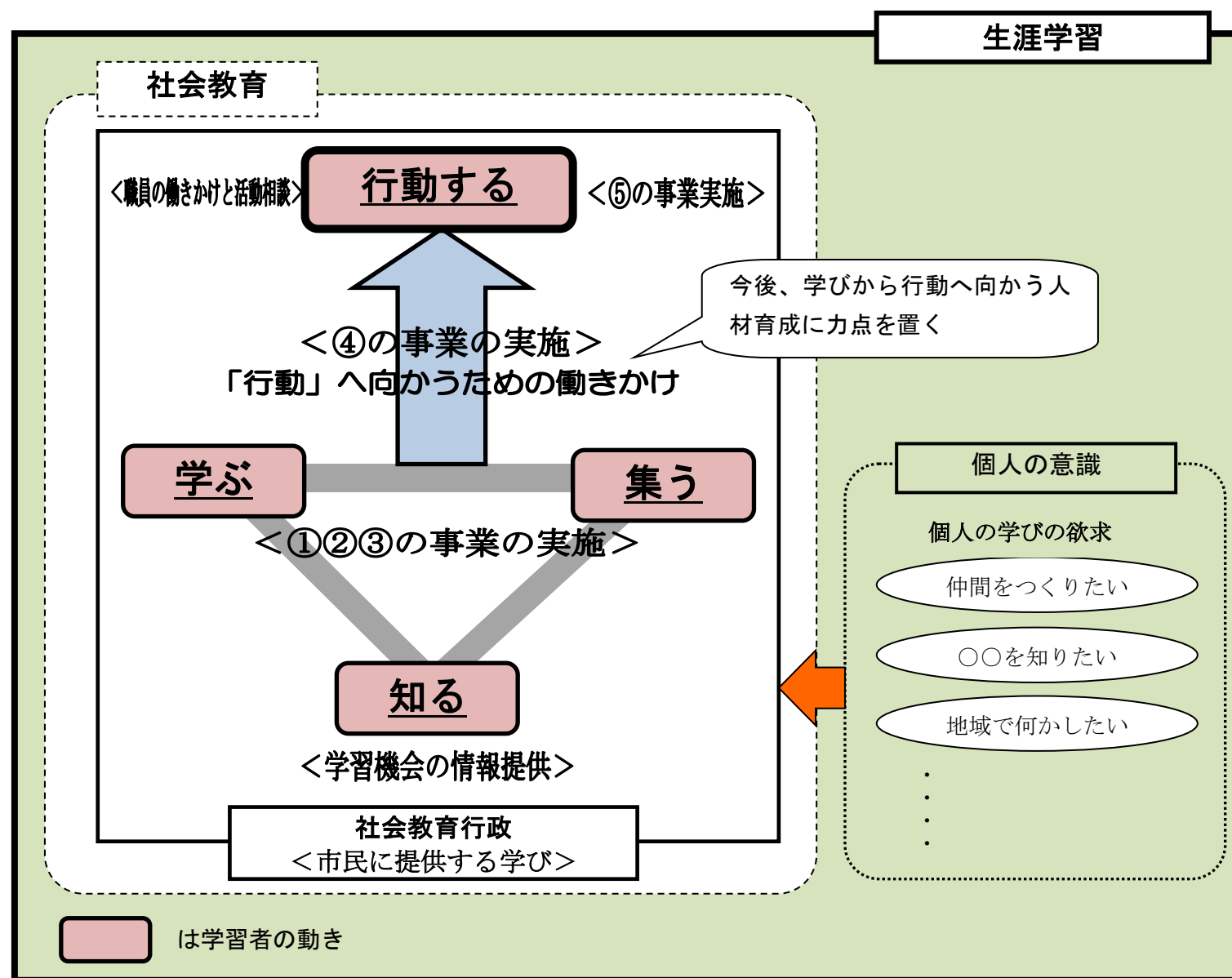
上越市の社会教育事業の「学びのグランドデザイン」

人・地域・未来

目指す姿 **学びの輪が 人をはぐくみ 地域を支えるまち**

- ・市民の学びの輪：市民が身近な学びの場集い、学ぶ楽しさを知り、学びを深め、行動する循環を生み出します。
- ・人を育む：社会教育事業のアプローチにより、上越市の未来を担う人材を育成します。
- ・地域を支える：育成した人材が課題解決に向けた行動を起こすことで地域を支えます。

■「学びのグランドデザイン」イメージ図



■ 当市における事業の目的と5本の事業の柱

＜事業の目的＞

- *ともに学び、ともに**はぐくむ人づくり**を推進する。
- *学習成果が活かされる**学びの輪**を形成する。
- *つながり、支え合う**地域づくり**を推進する。

＜5本の事業の柱＞

- ① 『学びのきっかけづくり』
学びのきっかけとなる事業を通じて、学びの意欲を高め、交流の輪を広げる。
- ② 『未来を支える人づくり』
さまざまな体験活動を通じて、子どもたちの豊かな心をはぐくむ。
- ③ 『育ち合い、支え合う家庭環境づくり』
子どもが健やかに育つよう、家庭の教育力向上を図る。
- ④ 『地域・現代課題に対応した地域づくり』
地域の課題や現代課題を学習することにより、課題解決に向けた意識を高める。
- ⑤ 『行動する人への支援』
これから行動する人や自主的に活動している団体、個人を支援する。

令和5年度 事業分類

5つの事業の柱	目的	年齢期		成人期	高齢期
		青少年（0～18歳）期			
		6歳	12歳		
学びのきっかけづくり	地域住民のニーズに応じた趣味や教養講座等から個人の学びの意欲を高めるとともに、交流の輪を広げる。			趣味・教養講座	
				体育・レクリエーション講座	
未来を支える人づくり	地域資源及び地域の人材を活用した体験活動や交流等を通じて、子どもたちの豊かな心をはぐくむ。	青少年教育活動事業			
		こうみんかんキッズフェスタ			
		謙信 KIDS プロジェクト			
育ち合い、支え合う家庭環境づくり	子どもが健やかに育つよう家庭の教育力向上を図るとともに、子どもの居場所づくりに努める。	家庭教育支援講座、家庭教育講演会			
		親子活動講座			
		夏休み☆子どもつどいのひろば			
地域・現代課題に対応した地域づくり	各地域自治区における地域の課題や情報モラル等の現代課題を学習することにより、課題解決に向けた意識を高める。	社会同和教育・人権教育事業			
		公民館のつどい			
		地域・現代課題講座			
		【令和3年度～】ふるさと未来づくり事業			
行動する人への支援	これから行動しようとする人や自主的に活動している団体、個人への活動支援を通じて、活動機会の提供及び活動の維持・継続を図る。	分館事業、地域公民館事業、ボランティア活動、団体・サークルや地域活動への支援、生涯学習フェスティバル			
		育成会議支援、市P連支援、子ども会支援、成人式、市展、県展、市民芸能祭、共催・後援等			

令和5年度 社会教育委員による事業訪問について

1 実施目的

社会教育課で実施する社会教育事業について、社会教育委員・公民館運営審議会委員から参加してもらい、事業に対する意見や提案を寄せていただく。寄せられた意見等を今後の事業計画や運営に反映させるなどして、より充実した社会教育事業の展開を図る。

2 対象事業

- ・各種公民館事業、社会教育事業（市展、生涯学習フェスティバル、謙信 KIDS プロジェクトなど） 対象事業を限定しない。

3 事業訪問の流れ

- ① 【社会教育課】 各種公民館事業、社会教育事業の日程等を定期的に郵送する配布物と合わせてお知らせするほか、市ホームページ等で情報収集いただけるよう準備を進める。
- ② 【委員】 各自興味のある分野の公民館事業や社会教育事業の日程を確認し、事業実施日の1週間前までに、訪問事業を社会教育係へ連絡する。（メール、電話、Fax）
- ③ 【委員】 事業訪問を実施。（社会教育委員の名札着用）
- ④ 【委員】 裏面「令和5年度社会教育委員による事業訪問 意見等報告シート」により、意見・提案を事業訪問参加後1ヶ月以内を目安に市へメール・Fax・郵送・持参のいずれかの方法で報告する。
- ⑤ 【市】 いただいた意見・提案を今後の事業計画や運営に反映できるよう検討する。

4 その他

- ・参加を強制としない。
- ・裏面「令和5年度社会教育委員による事業訪問 意見等報告シート」の提出を受けて、自宅から事業開催会場までの距離に応じた交通費（22円/km）を口座振込で支給します。
- ・市民として申込・参加した場合も、意見・提案等ありましたら、任意の様式で報告をお願いします。（交通費の支給なし）

令和5年度 社会教育委員による事業訪問 意見等報告シート

事業名		講座名	
開催日		委員名	

No.	項目	評価 (※)	意見・提案
1	目的に対して、活動内容は適切であるか	
2	講座全体の雰囲気	
3	参加者の様子、取り組む姿勢 (受講中の表情など)	
4	全体を通しての感想及び意見 (自由記述欄)		
		

※ 評価 (◎: とてもよい ○: おおむねよい △: 改善する点がある ×: 改善すべき)

- お手数ですが、記入後社会教育係へシートを提出ください。(メール、FAX、郵送、持参のいずれかの方法をお願いします。)
- コメントは、該当欄に収まる程度の量で結構です。

【提出先】
 〒942-8563
 上越市下門前1770 教育プラザ内
 上越市教育委員会社会教育課 社会教育係
 電話：545-9245、FAX：545-9272
 メール: shakaikyoubu@city.joetsu.lg.jp

令和5年度 社会教育委員による事業評価

資料No.3-1

事業名	ねらい	開催日時	開催場所	活動内容	参加者数	社会教育委員による事業評価 ※評価(◎:とてもよい ○:おおむねよい △:改善する点がある ×:改善すべき)						今後の対応など		
						目的に対して、活動内容は適切であるか		講座全体の雰囲気		参加者の様子、取り組み姿勢			全体を通しての感想及び意見(自由記述欄)	
						評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント		コメント	
1	家族でつくるマイ・タイムライン【公民館事業】	・大雨等による水害が起きた時に逃げ遅れることのないよう避難行動計画を作成し、防災減災の意識を高めるとともに自分や家族の命を守る備えについて学び考える。	R5.6.3(土)	直江津学びの交流館	・自然災害の種類について知るとともに、ハザードマップの見方や警戒レベルについてクイズやゲームを交えてのしく学び、避難する前の準備と避難時の注意点について学んだ上で、家族でいっしょにマイ・タイムラインを作成する。	14	◎	・家族で防災・避難・避難準備について考えることはとても良い。	○	・子どもが飽きないように工夫した時間があり、良かった。 ・具体物(3年生が考えてバックした非常持ち出し用リュックや講師の常備非常持ち出しリュック等)の提示があり良かった。	○	・家族で話し合いながら、記入作業しながら、参加していたことが、特に良かった。	・講師の話し方が、対象である子どもを意識したものであり、柔らかい口調で良かった。 ・Power Point資料の提示では、ポインターを使う方が良い。 ・小学生・幼児等が含まれているため、さらに分かり易い言葉を使う必要がある(漢字にふりがなをつけただけでは、“分かり易い”言葉にはならない)。 ・途中休憩時間は、30分から45分(小学校の1単元の時間45分を目途にする)との方が良い。 ・単位町内会、単位子ども育成会、あるいは複数団体での講座開設ができると、さらに良いと感じた。⇒共催も 視野に入れると良い。	・昨年度の防災講座の受講者が今回は講師となり、参加者に避難行動計画の作成などを伝達してもらった。学びの輪が広がったことを実感した。 ・対象世代(小学生の親子)にはあまり響かないテーマであったためか、募集後の集客が大変だった。しかし防災教育は私たちの身近に起こりうる大事なテーマなので、より多くの方々に学んでいただきたいと思う。受講対象者に沿った講座内容や、講座開設の手段について検討したい。
2	見つけて伝える直江津のステキ(1)【公民館事業】	・直江津の魅力ある歴史や文化、産業などについて学び、地域資源を広く市民に知ってもらうためにできることを参加者自身が考え発信する。	R5.6.20(火)	直江津学びの交流館	・平和記念公園で講師から話を聞き、展示館にて展示物を見学しながら、戦争がもたらした悲劇、直江津捕虜収容所について学ぶ。 ・学んだことを次世代に伝えるために必要なこと、自分たちができることは何かを考え合う。	17	◎	・「自分で企画することが魅力」と参加者が自分で言っている。 ・また、発信の手段“インスタ”勉強会を設定して、講座参加者を誘うなど、目的達成に向けた段取りがあり、とても良い。	◎	・継続参加者だけでなく、初めての参加者も意見交換に積極的である。	◎	・「地元で長年住んでいながら、知らなかったことに驚いた」「まずは今日のことを家族に話す」と素直に話す様子がとても良い。	・初回は、平和についての学びであった。第2次大戦の敗戦国である日本から見れば、捕虜収容所で起きた悲劇は、言わば“負”の記憶である。しかし、それを埋もれさせず、見据えることは非常に重要だと思う。また、平和記念公園の設置や上越日豪協会の設立経緯での人々の複雑な思いまでも考えることは大切である。 ・講座参加者一人一人の思いや意見を尊重する講座運営の方法は、とても良いと思う。 ・受付等の準備作業の改善策 “初回が肝心” ① 参加者が自分で受付名簿に○をつけるようにする。② 資料は参加者が自分でとるように、受付名簿の脇に並べて置く。③ 料金等の徴収は担当で。料金箱は、大き目(札をそのまま入れられる大きさ)が良い。受領書はすぐ渡せるように準備しておく。など	・昨年度の「直江津のステキ」講座参加者と一緒で企画の段階から作り上げている講座のため、参加者の講座に対する思い入れが強い。新規参加者も含め、積極的な発言や、講座運営に対して非常に協力的であり雰囲気がよいと感じている。 ・今後も、毎回意見交換の時間を設けた中で、参加者の思いやアイデア、意見等を大切に全6回の講座終了時には何らかの形で成果を残したいと考えている。 ・第1回目は会場設営や受付の段取りが悪く、参加者へ迷惑をかけてしまった。今後は前もって準備しておくよう心掛ける。
3	暮らしに役立つ防犯講座(1)【公民館事業】	・「いざ」というときに慌てることなく対応できるようにするため、悪質商法や特殊詐欺への注意喚起と被害の未然防止に向けた様々な知識について学ぶ。	R5.6.23(金)	安塚区榎田地区集落開発センター	・上越市消費生活センターの職員を講師に、「最近の悪質商法の実態と対策等」をテーマに同センターの出前講座として実施	12	○		○		○		・募集結果に応じて、地域の既存団体と連携協力し、会場変更するなど、柔軟に対応していて、とても良い。 ・特に地域に住む高齢者には、複数回(期間をとって)実施の講座は、良いと思う。 ・途中退席で申し訳ありませんでした。多分講座の終わり前には、近隣席での話し合いの時間設定もされていたのではないかと思います。自分の体験談を話し、情報を交換し合うことで、「自分事」になるし、「もし、同じようなことがあったら、おまんに電話するわね」などの具体的な話になると、さらに良いと思う。	・当初計画では実施会場を「安塚コミュニティプラザ」とし参加者の募集を進めていたところであるが、申込者が僅少だったため、急遽、榎田地区の活動団体「いきいきサロン」に参加を要請するとともに、合わせて、会場についても榎田地区集落開発センターへと変更することにより参加人数を確保し、今回講座の開催へと漕ぎつけた。公民館事業を進めていくに当たっては、開催目安人員以上を確保するのが最低条件であることから、次年度事業として継続する場合には、予め同種の活動団体がある町内に趣旨を説明し、賛同を得た上で事業計画の立案に着手していくことが必要かと思われる。
4	ふるさと探訪(1)上越火力発電所【公民館事業】	わがふるさととの歴史・偉人・文化について再び学ぶことにより、自分たちの住む地域について関心を高めるとともに、参加者同士の交流を図る。	R5.6.27(火)	東北電力 上越火力発電所	・発電の仕組み、エネルギーミックスの重要性や上越火力発電所としての役割、また、火力発電設備の効率向上や環境負荷低減の取り組みについて座学と施設見学を通して学ぶ。	16	◎	・開業を始めたばかりの火力発電所は地域住民にとって関心が高いのでとても良い企画です。	◎	・八千浦地区の参加者が多く、顔なじみで和気あいあい感があり年齢層もシニア層であったため、落ち着いた雰囲気だった。	◎	・発電所内の施設が巨大で普段目にするのが無いものばかりなので、職員の説明に聞き入っていた。 ・幾つもの質問も出て地域との関わりに関心を持って取り組んでいた。	・コロナの影響で企業訪問ができないでしたが、会社側もこれからは受け入れを増やしていくとお話でしたので、もっと多くの市民に参加してもらえるような取り組みが出来れば良いと思いました。 ・世界に誇る発電効率の良い施設ですが、建物の色は地元で配慮して桜のピンクと謙信のこん色を使用しているとのことでした。 ・今回は特に階段や屋外の高所への移動が多くありました。募集要項にその点を書いてあればなお良かったと思います。天候の影響を受けやすい企画にはもう少し詳しい説明が欲しいと思います。 ・公民館の担当者の応対も参加者を和ませてくれるのにほどよい感じに感じました。	・今後も施設見学や工場見学を行う事業の実施が想定されるため、事業の周知の際には詳細な見学箇所の情報や各天候による対応などの情報もチラシに記載し、周知を行ってきたい。

令和5年度 社会教育委員による事業評価

事業名	ねらい	開催日時	開催場所	活動内容	参加者数	社会教育委員による事業評価 ※評価(◎:とてもよい ○:おおむねよい △:改善する点がある ×:改善すべき)						今後の対応など		
						目的に対して、活動内容は適切であるか		講座全体の雰囲気		参加者の様子、取り組み姿勢			全体を通しての感想及び意見(自由記述欄)	
						評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント		コメント	
5	名立再発見講座ブログ 「オウム真理教坂本弁護士事件から何を学ぶか」 【公民館事業】	1)若い世代の定住と移住の推進を目的に、名立区で生活する魅力や妙味を発信するために、その活動に携わろうとする住民が、名立区の歴史や自然環境などを改めて学ぶ機会を提供する。 2)大きなストレスなく、穏やかに、豊かに、自分が思い描くように暮らせるためには毎日の生活で何が必要か、どのような課題を解決すべきか、考える機会を提供する。	R5.7.15(土)	名立地区公民館	・オウム真理教坂本弁護士事件についての講演会を行う。	30	◎		○		◎	・重い内容にも関わらず質問等もあり、真剣さが感じられた。 ・慰霊供養に参加していると考えられる参加者の発言からは、単なる出来事ではなく自分事として捉えていることが分かった。	・宗教・政治等に関する講座は、なかなか設定しにくいと思う。今回の講座は、名立だからこその講座だと実感する。 ・究極の反社会的行動をとったオウム真理教が起こしたこのような事件は、再び起こしてはならない。このような狂信的集団あるいは、犯罪集団による行動・活動はどこでも起こりうる。統一教会問題もしかし、さらにはグループによる詐欺行為もこの範疇に入ると思う。 ・自分たちのコミュニティを守り、自分たち自身を守るためにもこのような講座は必要だ。自分達の問題に気づき 改善していくためには、自分だけでなく周囲の人々が抱える問題を互いに相談し合える、支え合うことのできる環境づくりが重要。このような講座は、そのための重要な役割を担っている。	・今回は当区で起こった事件をテーマにした内容ではあったが、宗教や政治に関わることは、私たちの心と生活に密着し、すべての市民に関係することである。今後も「必要課題」ととらえて、その地域での生活に手練り寄せ、テーマや方法、会場などに工夫を加えながら、継続的に学ぶ機会を提供していきたい。 そのためには、公民館や社会教育現場で働く職員が、日常的に親しく住民と接する機会を持ち、その関係性の中から、その地域の課題を顕在化させていくような試みが続けていきたい。
6	大浦安ふれあい子ども教室 【公民館事業】	・仲間づくりと見聞を広めてもらうことを目的として、大浦安3地区の子どもたちが体験交流する。	R5.7.27(木)	上越体操場 ジムリーナ	・アリーナに設置してある様々な体操器具を使い、低学年班と高学年班に分かれて、講師の指導の下、楽しく身体を動かす。	25	◎	・3公民館の連携が図られており、3回連続講座での仲間づくりが進められる初回の活動としての体操教室の内容は適切であり、夏休み前半の実施も適切である。	◎	・明るく活潑とした雰囲気があり、初めて会った者同士という感じがなく、和気あいあいとしていて、とてもよかった。学年や男女のバランスがよく、人数も適正であった。	◎	・体操が得意な子どもそうでない子どもやる気にあふれ楽しそうに様々な動きにチャレンジしていた。活動をお互いに声を掛け合うなど、うちとけていく様子も見られた。	・2グループに分かれての活動内容やジムリーナの指導者のかかわり方がとてもよかったと思いました。学校でもジムリーナを活用した施設利用学習を申し込みたくまりました。 ・大島・浦川原・安塚の学校統合を見据えて、社会教育活動においても子ども同士とのふれあい活動や仲間づくりを進めることは大事なことだと思います。広域に子どもたちの未来を見据えて活動を構想していることが分かりました。大浦安ならではの長年のチームワークを感じました。 ・各区の担当者が、子どもたちの名前を把握していることに感心しました。さらに子ども同士のかかわりが深まるよう、また少人数の学校からの参加者が委縮しないよう、アイスブレイク的な活動や仲間づくりの活動を毎回取り入れるようにするとふれあいがより活性化すると思います。	・本事業は、来年度予定されている中学校区の統合に向け、3地区の小学校児童が現時点から一緒になって活動するという意味合いも含まれていることから、次年度においても有意義な講座が行えるよう、3地区公民館の連携を深めていきたい。 ・子どもたちにとって、夏休み期間に経験する屋外体験は貴重なものと思われるので、注意すべきことに十分配慮しながら、子どもたちにとって有益な事業となるよう、3地区でより一層連携を深めながら取り組んでいきたい。
7	こうみんかん キッズフェスタ 【公民館事業】	・さまざまな体験を通じて、子ども同士や世代間の交流を促し、子どもの健全育成を図る。	R5.8.4(金)	オーレンブラザ	「たいけんひろば」では創作活動や趣味活動の楽しさを体験し、「あそびのひろば」では郷土や科学等について楽しみながら学ぶ。また活動を通して参加者同士や、スタッフ、ボランティアを担当する地域の方々との交流を図る。	77	◎	・夏休みならではのお祭り気分あふれる活動内容でした。館内をほほほ貸し切り状態で、色々なブースを自由に回れるのがよかったです。	◎	・賑わいのある楽しい雰囲気でした。それぞれの指導者のかかわり方がよく、中学生ボランティアも明るい雰囲気を醸成していました。参加者のマナーもよかったです。	◎	・子供たちは自分の興味のある体験ができてうれしそうだったり、様々な遊びやものづくりに楽しそうに取り組んだりする様子が見られました。 ・付き添いの保護者も満足そうでした。	・社会教育課職員の多くの職員と高田地区公民館主事等がスタッフとして関わること、フェスタの盛り上がりがあり、体験の広場と遊びの広場の数・内容・時間・定員とも適切であったと思います。 ・3年ぶりの開催で、賑わいも戻ったでしょうから、夏休みのこの時期の公民館事業の目玉として位置づけるとよいと思いました。 ・受付待ちの時間がややあったので順番待ちの列を作るとよいと思いました。早く来ていたのに体験広場の順番が後になるというストレスも軽減されると思います。	・事前申し込み制にしたことで混雑するようないこともなく、適度に賑わいのある楽しいイベントになった。開催時間も適切だったと思う。 ・交流という点においても、多くの学生ボランティアから参加いただき、上手に参加者と関わって頂いたおかげでイベントがより盛り上がった。 ・反省点 ①受付:受付開始時刻より前にはすでにエントランスには多くの参加者が集まっており、受付開始と同時に一度に多くの方々が発着して受付も一時混乱している様子だった。受付時間を前倒して開始すべきだったと思う。 ②順路:参加者がまんべんなくスムーズに参加できるよう配置の見直しが必要。
8	谷浜・桑取地区の歴史講座 【公民館事業】	・自分の住んでいる地区の歴史を学び、教養を高めるきっかけとするとともに講座を通じて参加者同士の交流を図る。	R5.8.6(日)	谷浜・桑取地区公民館	・春日山城と谷浜・桑取地区の繋がりに関する講演会を行う。	11	◎	・女性と男性、高齢者と若年層が出席し、地元の歴史について学ぶ機会を設置出来た。	◎	・休み時間、質問タイムにも積極的に交流を深め、非常に積極的であった。	◎	・熱心に聞き入り、質問時には積極的であった。 ・桑取地区に愛着を持って生きていることが見て取れた。	・講師は文献でのみのお話を皆さんにお伝えできるが、地元の皆さんは桑取地区と春日山の関係、しいは上杉謙信公の桑取愛を確かめたかったのではないと思う。その点に関して、公民館主事の方が、サークル化して、地元だから調べることもできるので、みんなで勉強会を開催することもいいのではないかと話していた。ファシリテーターとして非常に良かった。 ・受講者の中に地元の歴史を学習している方が多く、地域で謙信公とのつながりを調査し、歴史のロマンを追及することも素敵だなと思った。 ・私自身は3年前に正善寺町内会主催のウォーキングイベントに参加した時に、春日山城から柿崎城そこから桑取古道を通り、城ヶ峰城を訪れた。その歴史を今回学ぶことができ、非常に楽しかった。次回もあれば参加したいと思う。 ・学生にとっての歴史は興味のあるものがなかった私だが、知っている土地でも歴史を知るとまた親しみが湧くという経験をさせていただいた。ありがとうございました。	・参加者の学習意欲が高く、より深い歴史を知りたいという声が多かったため、公民館として参加者の今後の動向を見守っていききたい。また、今回の事業の参加者が地域の歴史を調査・研究するにあたっては、公民館が協力することとする。 ・来年度以降については、継続して地域の歴史を学べるような講座の開催を検討し、内容によって講師の選定を行っていききたい。

令和5年度 社会教育委員による事業評価

資料No.3-1

事業名	ねらい	開催日時	開催場所	活動内容	参加者数	社会教育委員による事業評価 ※評価(◎:とてもよい ○:おおむねよい △:改善する点がある ×:改善すべき)						今後の対応など		
						目的に対して、活動内容は適切であるか		講座全体の雰囲気		参加者の様子、取り組み姿勢			全体を通しての感想及び意見(自由記述欄)	
						評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント		コメント	
9	人権を考える講話会	・地域や町内関係者、保護者、学校教職員を中心とした市民が、人権や差別についてともに考える機会を設け、児童の健全育成及び差別のない明るい上越市の実現を目指す。	R5.7.4(火)	豊原小学校	・社会教育指導員による同和問題をはじめとする人権問題やいじめ問題についての講話。	70	◎		○		○		・上越市立豊原小学校で、1学期末PTAと同日開催で行われました。 ・暑い日だったので、会場が体育館からクーラーの効いた教室に変更になりましたが、本来、対面での講話をしていることから、今後は、豊原小学校のような設営は行わないようにし、話し手としても参加者の顔が見える方が良いと考えます。 ・なお、パワーポイントの資料は、講師の説明時にスライドになること、また、カラーで印刷の量が多く参加者へ配布するには、コスト軽減の面から配布資料として考えていません。	
10	新潟県美術展覧会上越展	・市民に美術、芸術活動の成果を発表する場や鑑賞の機会を提供し、美術、芸術文化の振興を図る。	R5.6.7(水)～ R5.6.11(日)	教育プラザ 体育館	・歴史と伝統のある県内最大の公募展の巡回展を市内で開催し、市民が優れた美術・芸術文化に触れることのできる機会を提供する。	1,896	◎	・絵画、書道、造形、写真と素晴らしい力作揃いの展覧会だった。 ・制作者の創作にかける思い、様々な工夫のすごみを感じた。	◎	・静かに見入る方々が多かった。参観者が高齢な方が多い印象を受けた。参観でも、制作でも、若い力の参入が課題と感じた。	◎	・参加者の姿勢は、夫々の作品に刻み込まれるように表れていた。 ・こうした発表の機会があることが、意欲ある人にとり貴重な場となっていることが伝わった。	・美術に素養の無い私は、これまで関わる機会もなく、県展にも初めて参観させてもらった。作品を通して制作者の熱い思い、工夫の素晴らしさを感じた。制作に打ち込む姿が思い浮かぶようだった。 ・参観数は私の想像より多く盛況だった。多くの方が関心を持ち、県展を楽しみにされていることが伝わってきた。 ・作品を解説する先生の声が少し聞こえてきたが、年々作品数が減少傾向にあるとのこと。そう言われて見れば、来館者の多くは(私も含め)高齢で、若い人が少ないと感じた。若い人に関心をもってもらう工夫が今後の課題と感じた。 ・素人の感想であり、77回の歴史をもつ会を支えて来た方々に失礼な意見になるかもしれないが、このご時世、(写真部門があるのだから)動画部門などというものがあってもいいかもしれないと思った。若い人に興味をもってもらえる一策になるかもしれないという意味で、いずれにせよ、素晴らしい展覧会でした。	・出品者、来場者ともに若年層の増加に向けた取組は必要と考えている。先日の主催者委員による会議においても、若年層の増加に向けた取組について提案しており、今後検討を進める。 ・また、部門の新設については、既存の部門における出品状況との兼ね合い等もあることから、事務局(新潟日报社)に伝える。
						-		-		-			・展示方法について、主たる主催者である新潟日报社が担当していることから、現会場での見せ方の工夫について、次回以降の改善要望事項として伝える。 ・会場入口看板について、現在の位置の他に、国道8号線と教育プラザの間での看板設置の可否も含めて検討する。	
11	上越市民芸能祭(バレエ、モダン・ジャズダンスフェスティバル2023)	・芸能学習の成果を発表する機会を創出し、市民の活動意欲の高揚を図るとともに市民が芸術や文化に触れる機会を提供し、文化活動へ参加する機運を醸成する。	R5.5.27(土)	上越文化会館	・市民芸能祭「洋舞」に参加する各団体が、日ごろの練習成果を披露する。	800	◎	・まさに市民芸能祭にふさわしい内容だった。発表に取り組む姿が本当に素晴らしかった。	◎	・観衆も演技に真剣に見入っていた。素晴らしい演技に拍手が入り、2時間があっというまに感じられた。最初から最後まで、素晴らしい雰囲気だった。	◎	・小さい子も青年期の皆さんも素晴らしい演技の連続で、魅了され、圧倒され、感動した。 ・小さな子から大人まで、様々な年齢層がその持てる力を精一杯出していた。小さな子供の一生懸命ながらも微笑ましい演技にほだされ、癒やされる一方で、本格的なダンスに魅了され感動した。衣装、音楽、照明、そしてそれら全てを調和させる演出と内容の素晴らしさに圧倒された。この日に至るまでに、この発表を目標に、よく練習し、演出も十分練って臨んでいることが伝わってくる内容だった。私的なことを言えば、春日新田小時代の子供達が何人か混じっており、その子たちの素晴らしい一面を再発見させてもらった、嬉しいひとときであった。参加できて大変良かった。	・市民芸能祭に向けて、出演団体はベストのパフォーマンスができるよう稽古を重ねるなど参加者のモチベーションは高いことから、今後も生涯学習団体の発表の場として開催を継続していく。 ・一方で、指導者の減少や高齢化に伴う団体等の活動休止により、参加団体及び出演者数が減少傾向にあることから、維持向上に努めていく。	
12	上越市民芸能祭(令和5年合同合唱祭)	・芸能学習の成果を発表する機会を創出し、市民の活動意欲の高揚を図るとともに市民が芸術や文化に触れる機会を提供し、文化活動へ参加する機運を醸成する。	R5.7.9(日)	ユートピアく びき希望館	・市民芸能祭「合唱」に参加する各団体が、日ごろの練習成果を披露する。(第36回久比岐野合唱フェスティバルと合同で開催)	650	○	・参加団体が増えると同時間割が大変ではあるが、今後、連盟未加入の小グループをどう拾い上げていくかが課題。			○	・参加団体それぞれの熱意は大いに感じられ、それぞれの個性が表現されていて大変参考になる。 ・会全体の雰囲気は大変に良いと思うのですが、聴衆は200余りでしょうか、でも出演者が650余りいるのですから、その半分が、他団体の演奏を聴こうとすれば、客席には500以上の人がいて当然なのですが、300足らず程度しかいない。今年は会場が頸城だったので、あまり違和感として見えませんが、昨年のように会場が文化会館だと、客席が閑散としているのが見えてしまいます。 ・事前の会合でも、できるだけ他の団体の演奏を聴き合おうという呼びかけをしているのですが、これがなかなか伝わらない。皆さん、自身が演奏する事だけに集中していて、自分の演奏が終わるとサッサと引き上げてしまい、他の演奏をなかなか聴こうとしない傾向が、ずっと以前からの問題としてあります。 ・折角これだけの団体数が集まる意味は何なのか、その意識改革をもっと浸透させられたら、この会の開催意義はもっと大きなものになると思う。どんな妙案があるだろうか……。	・聴衆の人数は出演者のモチベーションにつながるのと同時に、合唱活動への新たな参加者確保のためのポイントでもあることから、引き続き合唱部門において出演前後の聴衆としての参加を呼びかけていただくよう助言を行う。 ・また、出演者以外の聴衆増加に向けて、市SNS等を通じた周知など、市としても更なる広報を図る。	

令和5年度 社会教育委員に関する会議等日程一覧

○現段階での予定になります。

○社会教育委員の皆様へは、その都度ご案内させていただきます。

期 日	会 議 等 名	会 場 等
【済】 4月24日(月) 9:30~11:30	第1回社会教育委員・公民館運営審議会委員会議	上越市教育プラザ
6月9日(金) 14:00~16:40	社会同和教育市町村巡回研修会	ユートピアくびき希望館
【済】 6月24日(金) 14:00~16:15	上越地区社会教育委員連絡協議会総会研修会	上越地域振興局
【済】 6月28日(水) 13:00~16:00	新潟県社会教育委員連絡協議会社会教育委員等研修会	新潟市黒崎市民会館
8月25日(金) 15:00~17:00	第2回社会教育委員・公民館運営審議会委員会議	直江津学びの交流館
10月6日(金) 17:30~18:00 (未定)	県社会教育研究大会胎内大会分科会事前発表会(終了後、懇親会)	直江津学びの交流館(未定)
10月18日(水) 10:00~15:00	県社会教育研究大会胎内大会 ※上越市分科会発表	胎内市産業文化会館
10月25日(水) 未定	生涯学習現地研修会	糸魚川市
2月中旬予定	第3回社会教育委員・公民館運営審議会委員会議	上越市教育プラザ

<関連事業等>

- ・11月8日(水)~10日(金) 第65回全国社会教育研究大会宮崎大会(宮崎県宮崎市)
- ・11月21日(火)~22日(水) 第54回関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会(栃木県宇都宮市)

(案)

第46回 全国公民館研究集会
 第64回 関東甲信越静公民館研究大会新潟大会
 兼 第74回 新潟県公民館大会

開催概要

- 1 テーマ 「公民館のチカラ」
 ～未来につなぐ、未来をつくる公民館～

- 2 期 日 令和6年11月7日（木）～8日（金）

- 3 会 場

○ 全 体 会	上越文化会館	上越市新光町1-9-10
○ 情報交換会	デュオ・セレッソ	上越市西城町3-5-20
○ 分 科 会	上越文化会館	上越市新光町1-9-10
	上越市春日謙信交流館	上越市春日山町3-1-60
	高田城址公園オーレンプラザ	上越市本城町8-1
	リージョンプラザ上越	上越市下門前446-2
	直江津学びの交流館	上越市中央1-3-18

- 4 主 催 公益社団法人全国公民館連合会、関東甲信越静公民館連絡協議会、新潟県公民館連合会、新潟県教育委員会、上越市教育委員会、糸魚川市教育委員会、妙高市教育委員会

- 5 主 管 第64回関東甲信越静公民館研究大会新潟大会実行委員会

- 6 後 援 （予定）
 文部科学省、新潟県、新潟県市長会、新潟県町村会、新潟県市議会議長会、新潟県町村議会議長会、新潟県市町村教育委員会連合会、新潟県社会教育委員連絡協議会、新潟県生涯学習協会、新潟県スポーツ推進委員協議会、新潟県青少年健全育成県民会議、新潟県婦人連盟、新潟県小学校長会、新潟県中学校長会、新潟県高等学校長協会、新潟県小中学校PTA連合会、新潟県高等学校PTA連合会、上越市、糸魚川市、妙高市、新潟日報社、**NHK**新潟放送局、**BSN**新潟放送、**N S T**、**TeNY**テレビ新潟、**UX**新潟テレビ21

(案)

7 参加対象者 公民館関係者、公民館運営審議会委員、教育委員、社会教育委員、教育委員会事務局職員、生涯学習・社会教育関係者、市町村理事者及び関係職員、公民館利用者、その他本研究大会への参加希望者

8 参加費 **【未定】**

(参考・長野大会)

1人あたり3,500円(「大会冊子」・「大会記録集」費用を含む)

9 日程 **【未定】**

(参考・長野大会)

第1日(11/7)

12:00～ 受付

13:00～ 全体会(開会行事、表彰、記念講演、文部科学省施策説明)
記念講演:講師

16:15～ 閉会行事(大会旗引継ぎ)

17:00～ 分科会打合せ

18:00～ 情報交換会

第2日(11/8)

9:10～ 分科会受付

9:30～ 分科会

12:10 閉会(解散)

10 分科会 **【未定】**

No.	テーマ	担当都県 【未定】
1	人づくり・地域づくりと公民館	
2	人口減少社会における公民館	
3	学校と公民館	
4	I C Tと公民館	
5	これからの公民館	

(参考・長野大会)

各都県=1事例の発表

- ・1事例につき約60分(発表30分+グループ協議20分+質疑応答10分)で計画しています。

(案)

11 情報交換会 【未定】

(参考・長野大会)

1人あたり5,500円程度を見込んでいます。

12 その他

(参考・長野大会)

新型コロナウイルス感染症5類移行後の開催として引き続き対策を十分に講じた上で参集形式での開催を目指しています。感染症状況によってはオンラインでの開催も視野に入れております。